

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月中
 基準日 定時株主総会および期末配当金 3月31日
 中間配当金(実施する場合) 9月30日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)	お取引の証券会社になります。	みずほ証券 本店、全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行ならびにみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話 お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を 開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。
公告方法	電子公告によって行います。(http://www.carlithd.co.jp) ただし、事故その他止むを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。	
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部	

2020年3月期 株主通信

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日



絵：福井正文

株主優待制度の ご案内

当社は、株主の皆さまの日頃のご支援に感謝の意を表するとともに、当社株式への投資魅力を高め、当社株式を中長期的に巨り保有していただくことを目的に、下記の通り株主優待制度を導入しております。

所有株式数	内容	
	保有期間3年未満	保有期間3年以上
100株~499株	UCギフトカード 500円分	同 1,500円分
500株~999株	UCギフトカード 1,000円分	同 2,000円分
1,000株以上	UCギフトカード 1,500円分	同 2,500円分

ご留意点

①保有期間については、3月末日および9月末日を基準とする当社株主名簿をもとに、同一の株主番号で、100株以上の当社株式を連続して保有している回数にて判定いたします。

◆保有期間3年以上とは…同一の株主番号で連続7回以上、100株以上を保有



②所有株式数については、優待発送の基準日時点の所有株式数のみで判定いたします。



カーリットホールディングス株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目17番10号
 TEL: 03-6893-7070 FAX: 03-6893-7050

<http://www.carlithd.co.jp>

カーリットHD 検索



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

— 無限の可能性をカタチに —

カーリットホールディングス株式会社

証券コード 4275

積極的な挑戦を続け さらなる成長を目指します

カーリットグループは、より強固な経営基盤確立のため、新たな経営体制をスタートさせました。グループ一丸となって挑戦し、持続的成長を目指します。

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに、当社グループの2019年度
(2019年4月1日から2020年3月31日まで)が
終了いたしましたので、
決算の概要および今後の事業展開につきまして
ご報告申し上げます。

代表取締役社長 金子 洋文



新型コロナウイルス感染症に感染された皆さまへ

世界各地で感染が拡大している新型コロナウイルス感染症により、亡くなられた方に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、引き続き闘病中の皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

また、感染拡大防止に向けて不眠不休で奮闘されている政府および自治体と医療関係者の皆さまに心からの敬意を表します。

カーリットグループでは、感染拡大防止に向け必要な施策を取るとともに、政府および自治体の施策に協力し、早期の終息および社会・経済のいち早い復興に

全社を挙げて取り組んでいく所存です。また、従業員やお取引先の皆さまの感染拡大防止に努め、適切な事業継続を図ってまいります。

2019年度の実績について

2021年3月期における今後の見通しについて

2021年3月期における今後の見通しについては、新型コロナウイルス感染症の影響により極めて厳しい状況が続くと見込まれており、今後の感染拡大の動向

により世界経済をさらに下振れさせるリスクも懸念されております。

2021年3月期の連結業績予想としては、売上高470億円、営業利益15億円、経常利益16億円、当期純利益10億円を予想しておりますが、第2四半期までで想定しうる影響を織り込んでおり、今後の動向次第では大きく変動する可能性があります。

今後、業績予想の修正がありましたら、速やかに開示をさせて頂く予定であります。

新社長就任にあたり

2020年6月26日開催の第7回定時株主総会およびその後の取締役会にて、新しく代表取締役社長に就任いたしました金子洋文でございます。3カ年の中期経営計画「ワクワク21」の2年目から大役を仰せつかり、身の引き締まる思いであります。

当社グループの既存事業の伸長、新規事業の確立を経て、世界に信頼される「カーリットグループ」となるよう、粉骨砕身の覚悟で職務に当たる所存でありますので、株主・投資家の皆さまにおかれましては、引き続き厚いご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画「ワクワク21」について

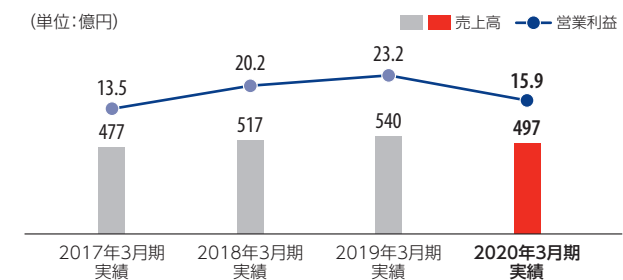
●中期経営計画1年目を終えて

中期経営計画「ワクワク21」の初年度となった当連結会計年度は、当初からの米中貿易摩擦の影響や、第4四半期から発生した新型コロナウイルスの影響などで、非常に厳しい外部環境となりました。また、当社グループにおいても、第2四半期においてボトリング事業にて

連結業績ハイライト

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
49,745 百万円 (前年同期比8.0%減) ▼	1,599 百万円 (前年同期比31.3%減) ▼	1,732 百万円 (前年同期比32.1%減) ▼	690 百万円 (前年同期比56.3%減) ▼

直近4カ年の業績(実績)



一部の製造ラインの不具合が発生し、当該ラインの稼働を一時的に停止し全面的なリニューアルを実施したことなどにより、業績に大きく影響を与えました。これらにより、売上高は前年比8.0%減の497億4千5百万円、営業利益は31.3%減の15億9千9百万円となり、当社グループにとって課題の多い1年になったと感じております。

このような状況であるからこそ、当社の今後の発展に向け何が重要であるかを見定め、迅速に意思決定していくことが必要であると感じております。

●今後の事業展開および新規開発の展望

中期経営計画「ワクワク21」では、最終年度である2021年度の数値目標として、売上高650億円、営業利益30億円、ROE8%を掲げています。この数値目標の達成に向け、新商品の開発に注力してまいります。

これまで研究開発として進めてきた固体推進薬開発を、2019年10月に事業会社である日本カーリットに移管し、営業部門である「宇宙産業部」と開発・製造

技術の確立を担う「固体推進薬製造グループ」を新設いたしました。これにより、今後急速な拡大が見込まれる宇宙関連ビジネスに対し、よりスピード感のある施策を打ち出せる体制を構築いたしました。

新たに発展が期待される開発事業としては、超小型電池を内蔵したスマートカードやウェアラブルデバイスなどへの搭載が期待される薄型電極があります。当社の電極製造や化学メーカーとしてのノウハウを駆使し、製造工程を工夫することで、100~200マイクロメートルの薄さや、小面積で高容量を保持する技術を実現いたしました。今後、Society 5.0が創られていく中、当社の事業発展に加え社会の発展にも寄与できるよう量産事業化を目指してまいります。今後は、高温下でも機能する電極などバリエーション開発も進めていき、自動車などの大型デバイス向けにも採用されるよう、研究開発活動を促進してまいります。

新しい技術だけではなく、当社の既存コア技術を活用することでも研究開発を進めております。そのひとつが、当社創業の発端である電解技術を派生させた、

》中期経営計画「ワクワク21」数値目標(2021年度)

売上高	》	650億円
営業利益	》	30億円
ROE	》	8%

※策定時の判断に基づくものであり、経営環境の変化や会計基準の変更等により数値の変化が見込まれます。



超小型電池を内蔵したスマートカード
※画像はイメージです

カーリットグループは、
コーポレートスローガン「無限の可能性をカタチに」
のもと、収益基盤と成長基盤づくりに
全力を注いでまいります。

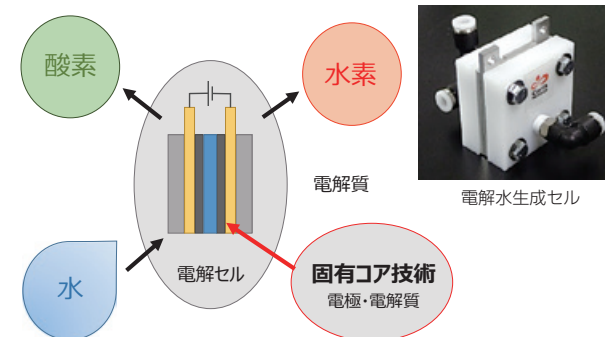


工業用電解水の精製セル開発です。また2020年3月には、当社の成分抽出ノウハウを用い、群馬県食品メーカーと共同で開発した食品廃棄物の再利用について発表しております。R&Dセンターの新技术と当社保有の歴史を組み合わせ、今後も当社の事業発展および社会や環境への貢献を実現してまいります。

！事業拡大に向けた「飽くなき挑戦」

当社のコーポレートスローガンである「無限の可能性をカタチに」のもと、社員一丸となって、収益基盤と成長基盤づくりに全力を注いでまいります。また、グループ企業間の連携、営業・開発部門の連携を強め、迅速な意思決定、施策遂行の達成を図ってまいります。これまで培ってきた営業部門での経験や戦略立案部門での経験を生かし、的確に意思決定を行っていく所存でおります。

株主の皆さまには、引き続きカーリットホールディングスにお力添えを賜りたく、心よりお願い申し上げます。

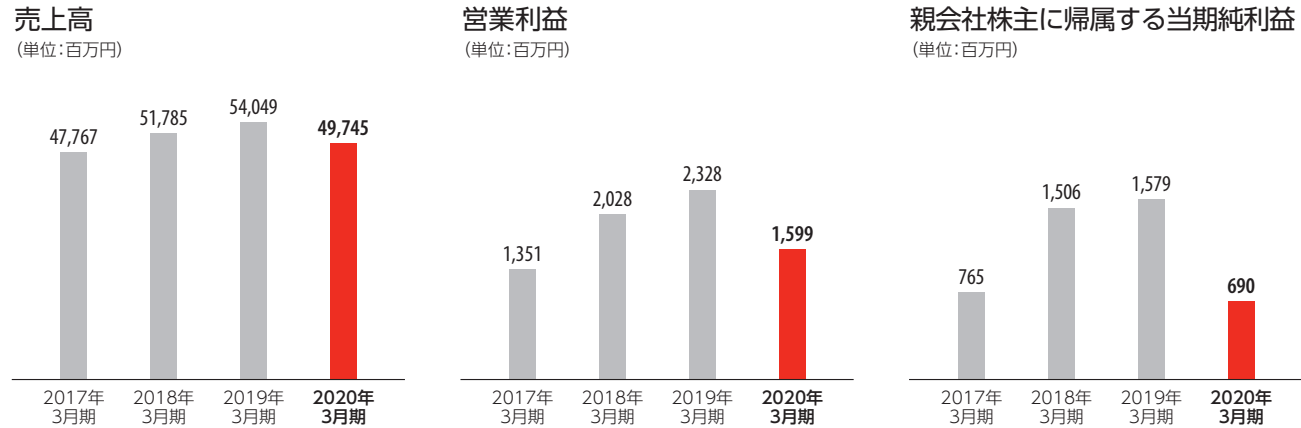


》 2020年3月期
期末配当金 (1株)

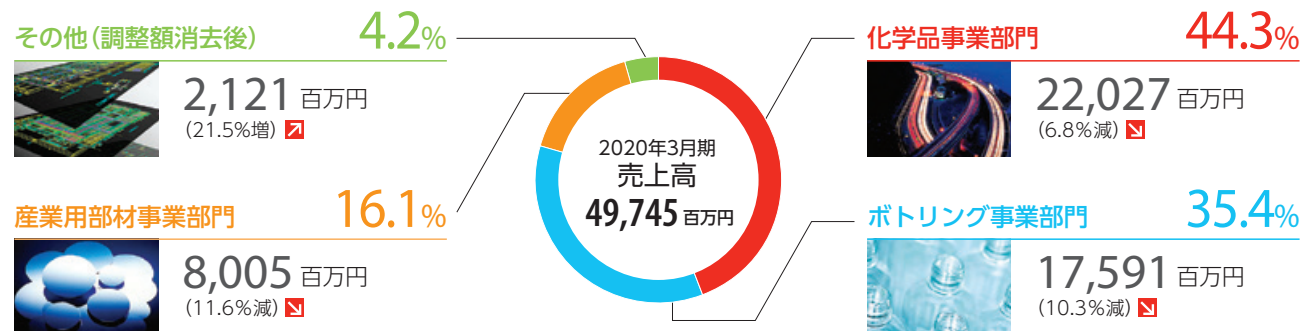
12.0 円

当期の業績について

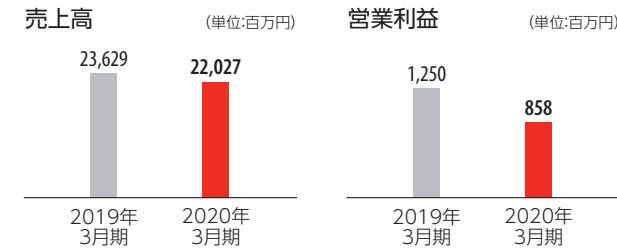
- ▶ 売上高は前年同期比△8.0%、営業利益は同△31.3%
- ▶ 化学品事業と産業用部材事業は、米中貿易摩擦の長期化等により、減収減益
- ▶ ボトリング事業は、一部の製造ラインの不具合が発生したことにより、減収減益



セグメント別売上高構成比



化学品事業部門
CHEMICALS



売上高 **22,027** 百万円
営業利益 **858** 百万円

化薬分野においては、産業用爆薬は土木向けの受注の減少により減販となりました。自動車用緊急保安炎筒は、新車販売台数と車検入庫台数の減少により減販となりました。高速道路用信号炎筒は増販となりました。煙火関連はテーマパーク向けの需要減により微減となりました。これらにより、分野全体として減販となりました。

受託評価分野においては、危険性評価試験は減販、電池試験は微増となり、分野全体としては減販となりました。

化成品分野においては、固体推進薬の原料である過塩素酸アンモニウムは打ち上げスケジュールが計画通りに進み増販、過塩素酸と除草剤も増販となりましたが、パルプ漂白用の塩素酸ナトリウムは市況の影響により減販となり、分野全体としては減販となりました。

電子材料分野においては、近赤外線吸収色素は大幅な増

主な事業内容

人々の安全を守る自動車用緊急保安炎筒、リチウムイオン二次電池などの受託評価試験、ロケット推進薬に使用される過塩素酸アンモニウム、パソコンなどに使用される機能性高分子コンデンサ向けピロール関連製品、研削砥石など、確かな技術により、人々の暮らしを支えています。



産業用爆薬

信号用火工品

販、アルミ電解コンデンサ向け材料・チオフェン系材料・電池材料向けの過塩素酸リチウムは増販となりました。一方で、米中貿易摩擦の影響を受けて機能性高分子コンデンサ向けピロール関連製品と電気二重層キャパタ用電解液は大幅な減販に、イオン導電材料などの機能材料が減販となり、分野全体としては減販となりました。

セラミック材料分野は工作機械・砥石業界向けの不調の影響を受けて減販となりました。

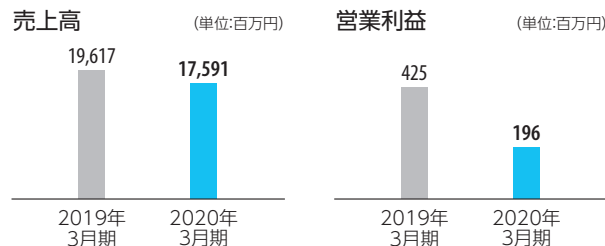
その他では、販売商社である佳里多（上海）貿易有限公司は増販、三協実業株式会社は減販となりました。

これらの結果、当事業部門全体の売上高は220億2千7百万円（前年同期比 16億1百万円減、同6.8%減）、営業利益は8億5千8百万円（前年同期比 3億9千1百万円減、同31.3%減）となりました。

ボトリング事業部門 BOTTLING

主な事業内容

人々の暮らしの必需品となったペットボトル飲料や缶飲料の受託製造を行っております。ペットボトル飲料の生産では容器生産、調合、充填、包装、検査まで一貫した生産システムを充実させ、主として茶製品を安定的かつ効率的に生産・供給しております。



売上高 **17,591** 百万円
営業利益 **196** 百万円

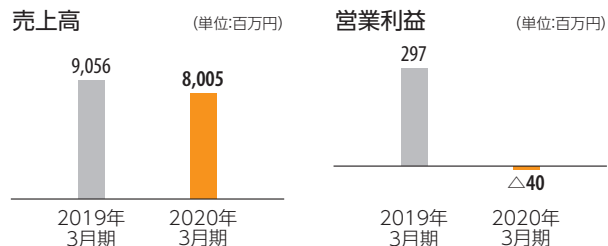
第2四半期期間中に一部の製造ラインの不具合が発生し、当該ラインの稼働を一時的に停止し、全面的なリニューアルを実施いたしました。当該製造ラインのリニューアルは第2四半期期間中にすべて完了しており、以降は安定稼働を再開していますが、諸施策の費用等が第4四半期累計期間においても影響を及ぼしました。

これらの結果、当事業部門全体の売上高は175億9千1百万円（前年同期比 20億2千5百万円減、同10.3%減）、営業利益は1億9千6百万円（前年同期比 2億2千9百万円減、同53.8%減）となりました。

産業用部材事業部門 MATERIALS

主な事業内容

パソコンなどに使われる半導体用シリコンウェーハ、都市ごみ焼却設備に使用される耐火・耐熱金物、自動車・建設機械向けばね・座金などを製造・販売しており、産業発展に貢献しています。



売上高 **8,005** 百万円
営業損失 **△40** 百万円

米中貿易摩擦等の影響により、半導体向けシリコンウェーハ、自動車・建設機械向けばね・座金製品とも減販となりました。

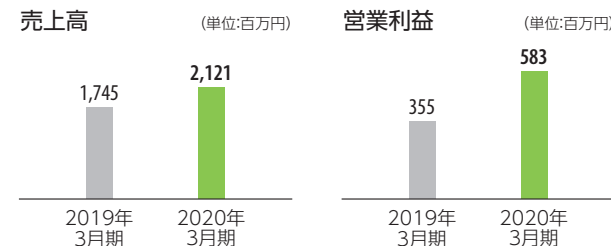
耐火・耐熱金物は、リテーナは増販となりましたが、主力製品であるアンカーの減販と不採算品目からの撤退等により全体では減販となりました。

これらの結果、当事業部門全体の売上高は80億5百万円（前年同期比 10億5千万円減、同11.6%減）、営業損失は4千万円（前年同期は2億9千7百万円の営業利益）となりました。

その他・消去 OTHERS

主な事業内容

工業用塗料販売・塗装工事、上下水排水処理施設・建築物等の設計・監理、不動産賃貸など、幅広い事業活動をしております。



売上高 **2,121** 百万円
営業利益 **583** 百万円

TOPICS ～統合報告書～

2019年度より、これまで発行していた「CSRレポート」の内容を充実させ、新たに「統合報告書」を発行いたしました。中期経営計画「ワクワク21」の策定を機に、カーリットグループの中長期的な価値創造についてステークホルダーの皆さまにご説明するコミュニケーションツールとして発行しております。

当社ウェブサイトに掲載しておりますので、是非ご一読ください。



(単位:百万円)

連結貸借対照表		
科目	当期 2020年3月31日現在	前期 2019年3月31日現在
資産の部		
流動資産	20,539	23,220
固定資産	28,385	30,492
有形固定資産	20,542	21,245
無形固定資産	107	145
投資その他の資産	7,735	9,101
資産合計	48,924	53,712
負債の部		
流動負債	12,602	15,555
固定負債	10,112	11,404
負債合計	22,715	26,960
純資産の部		
株主資本	23,613	23,197
資本金	2,099	2,099
資本剰余金	1,192	1,192
利益剰余金	20,517	20,114
自己株式	△ 195	△ 208
その他の包括利益累計額	2,596	3,555
純資産合計	26,209	26,752
負債純資産合計	48,924	53,712

(単位:百万円)

連結損益計算書		
科目	当期 2019年4月 1日から 2020年3月31日まで	前期 2018年4月 1日から 2019年3月31日まで
売上高	49,745	54,049
売上原価	41,735	45,287
売上総利益	8,010	8,761
販売費及び一般管理費	6,411	6,432
営業利益	1,599	2,328
営業外収益	294	347
営業外費用	161	123
経常利益	1,732	2,551
特別利益	555	130
特別損失	1,238	327
税金等調整前当期純利益	1,048	2,355
法人税、住民税及び事業税	540	857
法人税等調整額	△ 181	△ 81
当期純利益	690	1,579
親会社株主に帰属する当期純利益	690	1,579

(単位:百万円)

連結キャッシュ・フロー計算書		
科目	当期 2019年4月 1日から 2020年3月31日まで	前期 2018年4月 1日から 2019年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,899	2,848
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,145	△ 1,832
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,424	△ 953
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△ 1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	336	61
現金及び現金同等物の期首残高	4,286	4,222
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	-	2
現金及び現金同等物の期末残高	4,622	4,286

》会社概要 (2020年3月31日時点)

商号 カーリットホールディングス株式会社
(英文社名 Carlit Holdings Co.,Ltd.)
設立 2013年10月1日
資本金 2,099百万円
従業員数 1,091名(連結)

》主なグループ会社 (2020年3月31日時点)

● 国内	
日本カーリット株式会社	化学・化学品・電子材料品・研削材・煙火材料等の製造・販売および危険性評価試験ならびに電池試験の請負
株式会社シリコンテクノロジー	半導体用単結晶シリコンおよび半導体用シリコンウェーハの製造・販売
カーリット産業株式会社	エンジニアリング、建設業務、白蟻防除の施工・請負
ジェーシーボトリング株式会社	清涼飲料水のボトリング加工・販売
富士商事株式会社	工業用塗料販売および塗装工事
並田機工株式会社	各種耐火・耐熱金物等の製造・販売
株式会社総合設計	建築物、工作物、上下水・排水処理施設等の設計および監理
東洋発條工業株式会社	自動車および建設機械向け各種スプリングの製造・販売
株式会社西山フィルター	工業用繊維製品の加工・販売
アジア技研株式会社	スタッドおよび溶接機械の製造・販売
三協実業株式会社	合成樹脂原料の販売
株式会社エスディーネットワーク	建築の設計および監理並びにコンサルタント業務

● 海外	
佳里多(上海)貿易有限公司	化学品および電子材料等の仕入・販売
Carlit Singapore Pte.Ltd.	化学品および電子材料等の仕入・販売
NAMITA VIETNAM CO.,LTD.	各種耐火・耐熱金物等の製造・販売

》役員 (2020年6月26日時点)

取締役		監査役	
代表取締役社長	金子 洋文	常勤監査役(社外)*	森田 庸夫
取締役兼常務執行役員	森下 貴	監査役	青木 章哲
取締役兼執行役員	岡本 英夫	監査役(社外)*	松尾 典男
取締役兼執行役員	坂田 貞二	監査役	岩井 常道
取締役兼執行役員	澤村 文孝	執行役員	森川 芳行
取締役兼執行役員	谷内 俊文	執行役員	青山 強
取締役(社外)*	大村 扶美枝		
取締役(社外)*	山本 和夫		
取締役(社外)*	新保 誠一		

*を付した役員は東京証券取引所に独立役員として届け出ております。

(2020年3月31日時点)

》株式の状況

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	24,050,000株
単元株式数	100株
株主数	31,124名

》大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
みずほ信託銀行(株)退職給付信託 丸紅口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	1,997	8.3
日油(株)	915	3.8
みずほ信託銀行(株)退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	913	3.8
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	883	3.7
明治安田生命保険(相)	700	2.9
長瀬産業(株)	700	2.9
(株)大阪ソーダ	618	2.6
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	553	2.3
芙蓉総合リース(株)	522	2.2
関東電化工業(株)	464	1.9

》所有者別株式分布状況

